

はじめに

早いもので、Bipolar Disorder 研究会も今回で8回目を迎えました。この研究会が立ち上がる以前を振り返ると、単極性のうつ病に比べて双極性障害については活発に議論されることはそれほど多くはありませんでした。しかし、その後はBipolar Spectrum の概念が広まるなど、双極性障害に対する関心は徐々に高まり、関連した論文を目にする機会も多くなったことは周知のとおりです。また、その一方で、単極性のうつ病では疾患概念がやや広がり過ぎているのではないかという批判もあり、双極性障害を含めた気分障害の疾患概念をもう一度捉え直すべきとの議論もなされつつあります。今後、DSM-Vにおいて、双極性障害と単極性うつ病がどのように位置づけられるかという点も大変関心のあるところではないかと思えます。

今回の研究会は、名古屋大学の尾崎紀夫先生を当番世話人として、第1部の一般演題16題と第2部「双極性障害の併存症とそれに応じた治療」をテーマとしたシンポジウムで構成しております。一般演題、シンポジウムとも、大変バラエティに富んだ内容になっており、さまざまな角度から双極性障害の臨床的な報告や研究成果を伺うことができるのではないかと楽しみにしております。一般演題やシンポジウムにおいて、活発なディスカッションが展開され、実り多き研究会になることを期待しております。

国立精神・神経センター（現・独立行政
法人国立精神・神経医療研究センター）

樋口 輝彦

目次

はじめに3

国立精神・神経センター（現・独立行政法人国立精神・神経医療研究センター）
樋口 輝彦

第1部 / 一般演題

双極性障害入院患者の発症および前駆症状に関する後方視的研究15

東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

車地 暁生, 大島 一成, 行実 知昭, 古田 光,
正木 秀和, 熱田 英範, 平沢 俊行, 新垣 浩,
寺田 倫, 川上 礼子, 吉池 卓也, 西多 昌規,
藤田 宗久, 西川 徹

双極性混合状態における不安・焦燥感対策の重要性22

関西医科大学精神神経科学教室

片上 哲也, 織田 裕行, 木下 利彦

特異なカタトニア症状を呈した双極性障害の1症例31

九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

勝木 聡美, 本村 啓介, 三浦 智史, 神庭 重信

自殺企図にて救急搬送された双極性障害の2症例39

関西医科大学精神神経科¹⁾, 関西医科大学附属滝井病院高度救命救急センター²⁾

板東 宏樹^{1,2)}, 入澤 聡¹⁾, 山田 妃沙子¹⁾,
杉本 達哉¹⁾, 織田 裕行¹⁾, 平川 昭彦²⁾,
岩瀬 正顕²⁾, 村尾 佳則²⁾, 中谷 壽男²⁾,
木下 利彦¹⁾

病像変化としての軽躁状態の出現とその意味への問い

—schizophrenia圏と診断されていた1症例の長期の治療経過から46

緑ヶ丘病院

迎 豊

血漿のMHPGとBDNFがうつ症状と躁症状ともに有意な相関を示した双極性感情障害の1症例53

社会医療法人公徳会 佐藤病院¹⁾, 東北大学大学院薬学研究科細胞情報薬学分野²⁾

栗田 征武^{1,2)}, 西野 敏^{1,2)}, 加藤 舞子¹⁾,
沼田 由紀夫¹⁾, 佐藤 忠宏¹⁾, 中畑 則道²⁾

気分安定薬バルプロ酸およびラモトリギン投与によるヒト脳細胞遺伝子発現変化のマイクロアレイ解析による包括的検討61

東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野¹⁾,

東北大学大学院医学系研究科精神・神経生物学分野²⁾

田邊 陽一郎¹⁾, 田中 千晶²⁾, 兪 志前²⁾,
小松 浩^{1,2)}, 木村 好²⁾, 羽藤 愛²⁾,
松岡 洋夫¹⁾, 曾良 一郎²⁾, 富田 博秋²⁾

ラモトリギンの付加療法によって遷延性双極性うつ病相と不規則型睡眠覚醒パターンが改善した自閉症スペクトラム障害の1例70

日本大学医学部精神医学系精神医学分野¹⁾, 医療法人 山口病院（川越）²⁾,

NPO 法人 あではで神奈川相談部³⁾, 医療法人 十字会 松見病院⁴⁾,

国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部（現・独立行政法人国立精神・神経

医療研究センター 精神保健研究所精神生理研究部）⁵⁾,

医療法人 社団 輔仁会 大宮厚生病院⁶⁾

大賀 健太郎¹⁾, 奥平 智之²⁾, 鈴木 康弘¹⁾,
石川 由美子¹⁾, 古川 陽子³⁾, 鹿内 浩子⁴⁾,
阿部 又一郎⁵⁾, 柏瀬 宏隆⁴⁾, 内山 真¹⁾,
小島 卓也^{1,6)}

急性精神病状態に対するオランザピンと
バルプロ酸の急速飽和療法の有効性80
京都大学医学部附属病院精神科神経科¹⁾、京都大学大学院医学研究科精神医学分野²⁾
大久保 聡子¹⁾、岡田 俊²⁾

気分障害のうつ病相への入院治療で、抗うつ薬増量は
有用な治療選択肢になり得るか?86
北海道大学大学院医学研究科精神医学分野
仲唐 安哉、若槻 百美、鈴木 克治、井上 猛、
中川 伸、久住 一郎、小山 司

抗うつ薬による薬物療法中に初めて躁転を経験した
うつ病患者の転帰調査94
北海道大学大学院医学研究科精神医学分野¹⁾、市立札幌病院静療院²⁾
鈴木 克治¹⁾、新屋 美芳²⁾、仲唐 安哉¹⁾、
中川 伸¹⁾、井上 猛¹⁾、久住 一郎¹⁾、小山 司¹⁾

小児・思春期の双極性障害に対する薬物療法102
千葉大学医学部附属病院精神科・こどものこころ診療部
高橋 純平、久能 勝、東出 香、長谷川 直、
白石 哲也、深見 悟郎、伊豫 雅臣

躁的エピソードと不安障害の併存例について111
北島クリニック
北島 潤一郎

アルコール依存症における双極性障害の
併存例13例の経験120
旭山病院
芦沢 健

境界性パーソナリティ障害と診断されていた
広汎性発達障害の成人例
——発達障害とsoft bipolarityの併存に注目して125
京都大学大学院医学研究科精神医学分野
岡田 俊

境界性パーソナリティ障害は双極性障害の誤診か?
併存症か? 独立疾患群か?132
恩方病院
堤 祐一郎

第2部/シンポジウム

双極性障害の併存症とそれに応じた治療
双極性障害と不安障害の併存をめぐる
臨床的Perspective141
東京女子医科大学医学部精神医学教室
坂元 薫

ADHDの併存
——主に児童青年期について153
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野
鈴木 太

アルコール症の併存169
——感情障害と薬物依存
札幌医科大学医学部神経精神医学講座
齋藤 利和

おわりに185
大分大学医学部神経精神医学講座
寺尾 岳